

改元記念座談会

平成31年4月3日(水)

於：ホテル菜の花

## INDEX

改元記念座談会	1
統一地方選・当選報告	2
うすい日出男自伝 第1回	3
例会委員会・親睦委員会報告	4
スケジュール・編集後記	4

## 活動の基礎を築いた平成、 さあ！令和は飛翔の時だ！！



### 座談会出席者（敬称略）

阿佐 幸雄、岩田 代三、産方 恒好（終盤のみ参加）  
木下 英之、林 威樹、藤原 克己（50音順）

司会＆構成 広報委員会：奥平 恵

れるくらい左寄りだったのですか？

**阿佐** 極端に左寄りの人がいたということですね。

**藤原** 左か右かということであれば、右寄りの考えを持った人たちが集まって同友会とは別の「うすい月星会」を作ったといえますね。別の会をつくっても同友会の活動はしっかり行っていました。

### 純粹に経営の勉強をしたい仲間たち

**司会** 月星会は平成4年に誕生し、平成29年に25周年記念式典を行っています。まさに平成と共に歩んだ経営者の交流会です。誕生の頃を少し振り返ってください。

**藤原** 同友会（千葉県中小企業家同友会）のメンバー数名の



有志が集まって「経営の実践に役立つ勉強をしよう」という掛け声で集まった会です。同友会は中小企業の経営者が集まって活動している会ですが、思想的に左寄りの傾向が強く、我々には合わないなという思いがありました。

そこで、同友会活動をしながら、考え方が合う仲間と現在の月星会の前身となる会をつくったのです。1988年、すなわち昭和63年の10月のことで「うすい月星会」という名称でスタートしました。

**阿佐** 私はその設立総会から活動をし始めたのですが、同友会の活動をしながらだったので、自民党の市議などから「おまえ、共産党なんかに入っているんじゃないかよ」なんて嫌味を言われたりしました。

**岩田** そうそう私も言われていました。同友会活動に熱心だとそう言われたものです。

**司会** 千葉県の中小企業同友会って、「共産党」と言わ



### 応援すれども、先生の方は借りない決意

**司会** 初めから臼井先生の家紋を団体名に使っていますが、臼井先生の選挙応援が活動の柱だったのですか？

**阿佐** そういうわけではないですね。後援会として集まったわけではないので。

**藤原** そうですね。会社の経営に役立つ会としてつくりましたから。臼井先生の選挙応援もしながら経営の実践的な勉強をするためにつくったのです。臼井先生との情報交換は大切に考えていましたが、国会議員の力を借りようという考えは持たないことにしていました。

**阿佐** いちばん最初の会則に

「臼井先生から一切の金品をいただかない」という定めを入れましたね。金品はもらわなかったけれど研修会の講師は何人も紹介していただきました。役所関係の人、たとえば中小企業庁の政務官とか。これはありがたかった。



**藤原** スタートから臼井先生と共に勉強し合うといった位置づけで、先生にとっても利害関係がなく、本音の話が聞かれるのでありがたがっていたようです。

**司会** 先生ご自身が、ほかの議員さんから羨ましがられている会だといった話をしていますよね。

さて、こんなふうにはじまった月星会ですが、次の世代になる林さんは会の誕生についてどう感じますか。

**林** 月星会がどういう形で設立されたのか、よくわかりまし



た。チャーターメンバーの皆さんがいろいろとご苦労されて会の形をつくっていかれたんですね。阿佐さんや藤原さん、岩田さんたちが黎明期にしっかりしていたからこそ経営者同士の勉強会として今日まで続いてきた

のでしょ。皆さんのお話に感動しました。

**木下** 私は平成13年に入会したのですが、会を立ち上げた皆さんにエネルギーを感じました。その情熱と信頼関係には羨ましさを感じたくらいです。その、羨ましいほどのエネルギーこそ、会が30年続いてきた原動力になっていたのではないのでしょうか。そういうエネルギーは、一時的なものとしてはよくあると思いますが、30年間続けてきたことがすごい。活動自体は堅いようで、時代の変化に応じた柔軟性もあったように感じています。

**阿佐** 平成13年は「うすい月星会」の「うすい」を取って「月星会」に変更した年ですね。「うすい」が付くとどうしても後援会に見られるからです。10周年記念事業で皆さんがテンヤワンヤしている時、総会に諮らずに、こっそり取ってしまったのです。(笑)

## 「令和」は月星会にピッタリの元号

**司会** 話は尽きませんが、紙面の関係上最後になります。平成に生まれ、平成に成長した月星会ですが、令和の時代、月星会はどういう方向に進んでいくのでしょうか。ちなみに、令和の「令」は「法令」の「令」ですから規則を守るという意味もありますし、「令嬢」とか「令夫人」の令ですから、「敬う」とか「美しい」という意味もあります。

**阿佐** 令和は、馴染みのある漢字を使っているし、私の一番

好きな漢字「和」が入っているせいとか、とても良い元号だと受け止めています。何か新しいことが起こるような気がしています。

**産方** 平成に入ってからワープロが普通に使われ、そのあとにパソコン、そしてインターネットが生活の中に入り込みました。次の時代は、よく言われているようにAIが身近なツールになるでしょう。月星会の活動もそうした変化の波に乗っていく活動をしていきたいし、そういう動きをしていくべきだとは思っています。

**木下** 大晦日から新年を迎えるときには、何か新しいことが起こるような気持ちになります。一日一日としては何も変わらないわけですが。元号もそうでしょう。何かが変わるといふ思いがあり、実際に変えていくべきだと思います。そういう意味で、月星会の活動も変えていくところは確かにあると思います。



**林** 令和の「和」は「なごみ」とも読むわけですが、それぞれが月星会の活動に「なごみ」を感じ、和やかな雰囲気

で活動する会にしていきたいですね。  
**岩田** 平成に生まれた月星会ですが、阿佐さんや藤原さんが居なかったら令和の時代までは続いていないでしょうね。チャーターメンバーの力はすごい。令和の時代ですが、私はもう何年も生きていません。(笑) 月星の活動は流れのままにやっていきたいと思

います。  
**藤原** 令和には、「清く正しい」とか「清々しい」という意味があるし、「なごむ」の意味もあります。「なごむ」が「慣れ合い」になってはいけませんが、この元号は月星会に合っています。「不易流行」という言葉がありますが、変えていくべきものと変えるべきではないものを見極めながら時代の流れをつかんだ活動が望まれます。

**司会** 平成の時代に基礎をつくっていただいた。令和の時代は、いよいよ飛翔するときですね。

## 統一地方選・当選報告

### 月星会の会員は全員当選しました！

この度の統一地方選挙に際し、以下の月星会会員は全員当選を果たしました。

【千葉県議会議員】 臼井 正一

【千葉市議会議員】 茂手木直忠  
小川 智之  
川村 博章  
向後 保雄  
鷲見 隆仁



皆様の力強いご支援、ご協力のおかげ様と、心から御礼申し上げます。

今後もより細やかな情報収集と発信に努め、経済人の皆様のお声をタイムリーに行政に届け、スピーディーに政策に反映させる努力をして参ります。

皆様はお仕事を通じて、私たちは政治の面で、郷土「千葉」の発展を牽引する車の両輪です。

どちらが欠けても、また行き過ぎても、車はまっすぐ進みません。引き続きご指導ご鞭撻と叱咤激励をお願い致します。

千葉県議会議員 臼井正一

## 社会人生活は サラリーマンから始まった！

「会報つきばし」で私の生涯を振り返る(うすい日出男自伝)を長期連載で掲載してくれるという。ありがたい話であり、お断りする理由も見当たらないのでお引き受けすることにした。

30年以上にわたって、お付き合いいただいている月星会の皆さんに、私の生き方、今日までの来し方をきちんと筋道立ててお話するチャンスはあまりなかったように思うし、会員の方から「先生、ぜひ自叙伝を」と勧められることも何回かあった。

自叙伝とか自伝とかいわれる“一冊の本”を書き下ろすとなると、エネルギーが足りなくなると思うが、会報の片隅に毎号少しだけ私の来し方を披歴するなら、なんとかできるかもしれないと思ったのである

が、それでも全部自分で書くとなるとちょっと心もとない気分になり、だんだんネガティブな気持ちになってしまう。そう思っていると、広報委員長の永田さんが「大丈夫です。広報委員会には奥平さんというプロがいるので、とことんお手伝いします」とありがたい案を出してくれた。

というわけで、少々長い連載になるかもしれませんが、奥平プロの御手を借りながら、自分の生涯を振り返ってみることになりました。お付き合いのほど、よろしく願いたします。

## 議員とは無縁の生活を経て

ご存知の通り私は、国会議員を長く務め、千葉県内ではよく知られている臼井荘一の三男である。兄弟姉妹は6人いて、私の上には11才上の長男・一世と9つ上の長女・初江、3つ上の次男・督二、そして私・日出男と続く。ちなみに、次男の督二は、生まれつきの小児麻痺で、母の春江子は苦労したのだと思う。

私の下には妹二人、ゆり江と陽子がいる。この二人の妹は、父が国会議員を務めていた時に、秘書として活躍してくれたのだが、二人とも結婚したことにより辞めざるを得なくなった。当時はまだ、身内の事務所であっても結婚したら仕事を辞めるのが普通だった。

秘書から専業主婦への転身。この普通のこと私の人生を大きく変えることになる。

二人が結婚退所したことにより、父の事務所が手薄になり、私に白羽の矢が立ったのである。

それまで何をしていたかという、中央大学を卒業したあと、東京日野チーゼル(株)に就職、総務部総務課に配属され

てサラリーマンとして当たり障りのない人生を送り始めていた。

当たり障りが無いといっても、入社した直後は右も左もわからず、総務部総務課がどういう役割があってどんな仕事をするのか、全然わからずに、毎朝「とにかく会社に行こう」と通っていただけのような気がする。

そんな私を上手に指導し、やる気を植え付けてくれたのが、管課長という直属の上司だった。菅さんのおかげで、「これで、安泰な生涯を送れそうだ」とひとり、自分の部屋でニコッと笑みを浮かべていたものだ。

こういう話をすると、皆さん「へえ〜」と驚くのであるが、本人は学生の頃からなんとなく描いていた人生にほかならない。

少なくとも「父の跡を継いで国会議員になるんだ」というような志しは一度も持ったことがなかった。

あえて言い訳をするならば、父の跡を継ぐのは長男の一世だと思い、私は私で「父とは異なる自分の道を探し、静かに歩いていこう」と決めていた、という言い方はできるかもしれない。

## 父への尊敬心

親に頼らない人生を送るんだ……そんな決意があったわけではない。だいいち、日野チーゼルは、実は父の縁で入った会社である。

ただ、親に頼りっぱなしで自分は就活を全然しなかったわけではないし、就活を安易に考えていたわけでもない。

実は、父の勧めで日野チーゼルに決める前、某大手会社からすでに内定をいただいていたのだ。

親に頼らない、自らの力で内定を勝ち取った会社をあっさり蹴り、父の勧めた会社に就職したわけであるが、今思えば、父に対する私の尊敬心はいつの間にか重いものになっていたのかもしれない。尊敬する父に逆らってまで自分の選んだ会社に入る迫力は、当時の私にはなかったであろう。

その父への強い尊敬心がやがて私の人生を変え、父と同じ国会議員生活へと導いたのだと思う。

今回は、父・臼井荘一について書こうと思う。

## 例会委員会報告

平成31年3月例会 3月28日(木) 於：鯨割烹みどり

3月例会は阿佐相談役に「月星会誕生から現在まで」と題して、月星会の設立から現在までのご苦労された事柄やその裏でご活躍された方のお話をさせていただきました。

参加者は、会員27名、ビジター2名。

ふくろう募金は、5138円でした。



平成31年4月例会 4月25日(木) 於：鯨割烹みどり

4月例会は女優城谷小夜子氏による浄瑠璃で「牡丹灯籠」を演じていただき、そして「江戸しぐさに学ぶコミュニケーション」というテーマで江戸商人のリーダーたちの行動哲学や、当時世界最大の都市である江戸で暮らすための人々の知恵をお話いただきました。

参加者は、会員28名、ビジター6名。

ふくろう募金は、7587円でした。

(3月、4月共、吉田光一例会委員長)



## 退会

大浦 義信氏 (㈲エーデル商会) 病気のため

## 親睦委員会報告

春の宴 平成31年3月30日(土) 幕張海浜公園バーベキュー場

昨年もそうだったのですが、天気予報が悪くて心配されましたが、何とか曇り空で「春の宴」のバーベキュー大会はスタートできました。

開始時間を若干過ぎて皆さん集合され、穴倉委員長の開会宣言で開始!

今回は飲み放題プランを採用したので、若干費用が掛かりましたが、ソフトドリンクからアルコール類も豊富で皆さんの杯のピッチは好調に進んでいったようです。

家族・ビジターの参加が多く、和気あいあいと懇親を深めることができました。

会場は昨年の青葉の森公園より整備されていましたが、桜の花が会場になかったのがちょっと残念でした。

参加者26名(会員13名・家族9名・ビジター2名)でした。

(親睦委員 川名利夫)



## 6・7・8月のスケジュール

6 / 1 (土)	<b>令和元年度定時総会 / 懇親会</b> 18時00分開会 参加費 会員 無料 会場 ホテルグリーンタワー幕張 3F 令和初めての定時総会です。 多くの会員のご参加をお待ちしています。
6 / 5 (水)	<b>役員会</b> 18時00分開会 ホテル菜の花
6 / 27 (木)	<b>夕食例会</b> 18時30分開会 鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
7 / 3 (水)	<b>役員会</b> 18時00分開会 ホテル菜の花
7 / 25 (木)	<b>夕食例会</b> 18時30分開会 鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円
8 / 7 (水)	<b>役員会</b> 18時00分開会 ホテル菜の花
8 / 22 (木)	<b>夕食例会</b> 18時30分開会 鯨割烹みどり 参加費 会員3,000円 ビジター 3,500円

## 編集後記

右も左もわからないまま広報委員長を引き受け、2年が過ぎようとしています。会報の発行の流れは一通り理解しましたが、会員の皆様に楽しく読んでもらうための企画には、いつも頭を悩ませます。

新しい時代に入り、今回から臼井先生の自叙伝の連載がスタートしました。

「次号が楽しみ」と思っていただけの企画を引き続き考えていきたいと思ひます。 (広報委員長 永田洋子)